

艱難汝を玉にす（かんなん なんじをたまにす）

校長 舘岡 靖哲

新緑の5月から梅雨の6月へと確実に季節が移り変わろうとしています。早いもので1学期の折り返し点を迎え、生徒一人ひとりが生活のリズムを確立し、授業や部活動にも熱心に参加し、学校全体が活気づいています。雨天順延のため、5月26日（火）に体育祭を実施しました。開会式における聖花リレーや本校卒業生（木下桃花選手：元女子サッカー日本代表）からのメッセージ動画等、創立80周年記念行事も併せて実施いたしました。準備期間が短く、天候にも左右される中、体育の授業を中心に準備を進めて、今年度も生徒主体のすばらしい体育祭となりました。保護者・地域の皆様には、開会の時から温かいご声援をいただき、本当にありがとうございました。そして、5月30日（土）からは3年生最後の公式戦となる学校総合体育大会が始まりました。大いなる健闘を祈りたいと思います。

さて、「艱難汝を玉にす」は、アニメ『ドラえもん』に登場しました。のび太のパパはのび太に対し、「苦しみ、悩んでこそ、立派な人間になれる」という意味だと説明していました。この言葉は、フランスの諺が語源のようです。私たちが聞きなれた諺に置き換えると「若い時の苦労は買ってでもせよ」になります。さらに調べてみると、海外にも同じような諺があるようです。英語なら「Heavy work in youth is quiet rest in old age.（若い時の重労働は老いての平穏）」中国語なら「宁吃少年苦 不受老来貧（若い時の苦労は老いてからできない）」韓国語なら「젊어서 고생은 사서도 한다（苦労は買ってでもするものだ）」若い時に失敗したり、修羅場をくぐったりすることが成長に欠かせない考えるのは万国共通のようです。

そういえば、舘岩少年自然の家で勤務していた時に、自然の家が在る木賊集落の古老から、次のような話を聞いたことがあります。

舘岩では、生活の多くが集落内の人々の共同作業で成り立っています。一昔前は、家の建築や修繕も皆で協力して行いました。ところで、家を建てる時、山から木材を切り出します。山の南斜面の木材は太くて立派です。反面、冬場に北風を受け、積雪も多い北斜面の木材は、成長も遅く、全体的に細くて頼りなさそうに見えます。

しかし、家の重要な箇所を使う木材は、この北斜面の木材を使用します。なぜなら厳しい環境で育った北斜面の木材は耐久性に優れ、冬の積雪に耐えられるだけの強度もあります。逆に日当たりもよく、積雪も少ない南斜面の木材は「割れ」や「反り」が生じやすく、大黒柱や梁に使用すると家が傾く原因となります。

最後に私事ですが、数年前から農地を借りて、野菜作りを行っています。先日、近隣の農家の方より「苗の頃は 肥料や水分を与えすぎずに育て、厳しい環境に慣れさせることが大切です。それにより苗は自ら水や養分を取りに行こうと根を伸ばす力が身につきます。人と一緒に、若い苗のうちに苦労すると、早く自立して逞しく育ちますよ」とアドバイスをいただきました。子育てと野菜作りの共通点に感心し、本校の生徒達も、日常の様々な苦労を乗り越える経験のなかで、逞しく育ててほしいと願いながら、農作業を終えて帰路につきました。